



教育は
未来へつなぐ
希望の輪

2021年4月21日（水）
愛知県教育委員会教育企画課
調査・広報グループ
担当 廣瀧・櫻井
内線 3821、3824
ダイヤルイン 052-954-6747

書籍「続 命のビザ、遙かなる旅路」の贈呈式の実施について

書籍「続 命のビザ、遙かなる旅路」の著者である北出明^{きたであきら}氏から、愛知県内の全高等学校へ同著の御寄附の申出がありました。御寄附いただくに当たり、下記のとおり目録の贈呈式を執り行います。

記

1 日時

2021年4月27日（火）午前10時から午前10時30分まで

2 場所

愛知県庁西庁舎9階 教育委員会室

3 寄附書籍

- (1) タイトル 「続 命のビザ、遙かなる旅路
～7枚の写真とユダヤ人救出の外交官たち～」
- (2) 寄附冊数 225冊（愛知県内の国公立私立高校各1冊分）
- (3) 概要 「杉原ビザ」で救われたユダヤ難民のその後の物語と杉原千畝氏以外にもいた、尽力した外交官たちの記録

4 出席予定者

北出 明（きたで あきら）氏
愛知県教育委員会教育長 長谷川 洋

5 内容

- (1) 寄附者御紹介、寄附者挨拶
- (2) 県側出席者紹介
- (3) 目録の贈呈
- (4) 教育長から御礼の言葉
- (5) 写真撮影

続 命のビザ、遙かなる旅路 ～7枚の写真とユダヤ人救出の外交官たち～



著 者 : 北出 明

〈著者の略歴〉1944年三重県上野市（現・伊賀市）生まれ。66年慶応義塾大学文学部仏文学科卒、国際観光振興会（現・国際観光振興機構－JNTO）に就職。ジュネーブ、ダラス、ソウルの各在外事務所に勤務。2004年JNTO退職。著書に「風雪の歌人」（講談社出版サービス・センター）、「争いのなき国と国なれ」（英治出版）、「韓国の観光カリスマ」（交通新聞社）、「釜山港物語」（社会評論社）、「命のビザ、遙かなる旅路」（交通新聞社）、「Visas of Life and the Epic Journey」（朝文社）がある。2017年「平成29年度外務大臣表彰」受章。

出版社 : パレード

発刊日 : 2020年12月17日

仕様等 : 単行本（ソフトカバー）全184ページ、1,430円

内 容

「杉原ビザ」で救われたユダヤ難民のその後の物語と、杉原千畝氏以外にもいた、尽力した外交官たちの記録。

偶然出会った一冊のアルバムに収められていた7人の写真は、私たちになにを語りかけようとしているのだろうか。

写真の裏面に残されていた手書きのメッセージから、彼らは1940年頃、ナチスに追われて日本に逃れてきたユダヤ難民らしいことがわかった。

そして、そこからすぐ思い出されたのは、「命のビザ」と呼ばれる日本への通過ビザを発給して数千人のユダヤ人を救ったとされる日本の外交官、杉原千畝のことだった。その真相を追うべく2010年9月、アメリカ取材旅行を実施した著者に予期しなかった展開が待っていた。

一方、いまや「命のビザ」と言えば杉原千畝の代名詞のようにになっている。事実、映画、テレビドラマ、ドキュメンタリー、学校の教科書、ミュージカル等々、まさに杉原賛歌一色の様相を呈しており、第二次世界大戦下、ヨーロッパから脱出しようとする多くのユダヤ人を救ったのはあたかも彼ひとりのような印象を与えている。

しかし、あの時、彼らに救いの手を差し伸べたのは杉原千畝のみならず、他国の外交官さらには別の日本人外交官もいたことはあまり知られていない。

我々日本人が同胞である杉原千畝の勇氣ある人道的行為に称賛の拍手を送るのは当然のことであるが、その際はこれらの人々の存在にも思いを馳せ、敬意を表することを忘れてはならない。